

＜スタッフ紹介＞

役 職	スタッフ名
主任部長	神 移 佳
部 長	小 林 俊 司
部 長	米 本 紀 子
医 長	久 保 直 子
医 長	水 田 大 介
副医長	林 文 昭
副医長	熊 野 景 太
副医長	西 村 俊 輝
副医長	林 大 貴
副医長	小 野 洋 平

＜特色と概要＞

2025年度の年間総麻酔管理件数（無痛分娩を含む）は2,979件であった。当麻酔科では、原則として依頼のあった手術麻酔は予定・緊急を問わずすべて受け入れている。また手術室外においても、血管造影室で施行される脳神経外科の脳動脈瘤コイル塞栓術や、口腔外科の動注管設置術などに対する麻酔管理を担っている。

当科では「麻酔科術前スクリーニング」システムを導入し、手術予定日の1週間以上前から重症症例の評価を行っている。当院では高難度・高侵襲手術が多く、前日の術前診察のみでは十分な対応が困難な症例も少なくない。糖尿病患者の血糖コントロールや心機能低下症例の精査などについては、各専門診療科と連携し、周術期の問題点を事前に抽出・介入することで、安全かつ良好な術後経過に寄与している。

教育面では、毎週の論文抄読会および問題症例検討会を通じて最新の医学知識の習得と臨床能力の向上を図っている。また、後期研修医を中心に臨床研究を積極的に推進し、日本麻酔科学会をはじめとする主要学会での発表を継続的に行っている。当院は日本麻酔科学会専門医制度の基幹施設として研修プログラムを運営しており、専門医機構からも認定を受けている。今後も質の高い研修環境を維持し、基幹施設としての役割を果たしていく。

【ペインクリニック】

ペインクリニックでは、麻酔科の疼痛管理技術を基盤に、難治性疼痛および慢性痛の治療を行っている。対象疾患は、脳卒中後疼痛、遷延性術後痛、複合性局所疼痛症候群（CRPS）、三叉神経痛、四肢血行障害性疼痛（レイノー症候群、ASOなど）、がん性疼痛など多岐にわたる。日本ペインクリニック学会専門医3名を中心に外来診療を行い、エコーガイド下または透視下神経ブロック、持続脊髄鎮痛法、脊髄刺激療法などの高度な治療を提供している。非がん

性慢性痛に対しては、リハビリテーション科や精神科・心療内科と連携し、患者のQOL向上を目指した包括的治療を実践している。2016年より日本ペインクリニック学会指定研修施設として認定されている。

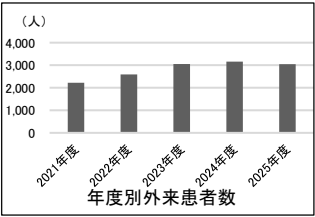
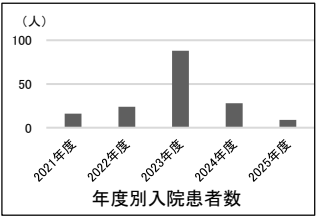
【無痛分娩】

2024年より無痛分娩を開始した。現在は計画分娩を中心に対応しているが、社会的ニーズの高まりを背景に症例数は増加傾向にあり、今後さらなる体制整備を進めていく予定である。

＜実績＞

患者数（外来及び入院、延べ人数の推移） (人)

年度	外 来		入 院	
	延べ患者数	1日平均	延べ患者数	1日平均
2021年度	2,219	9.2	16	0.0
2022年度	2,593	10.7	24	0.1
2023年度	3,052	12.6	88	0.2
2024年度	3,157	13.0	28	0.1
2025年度	3,043	12.6	9	0.0

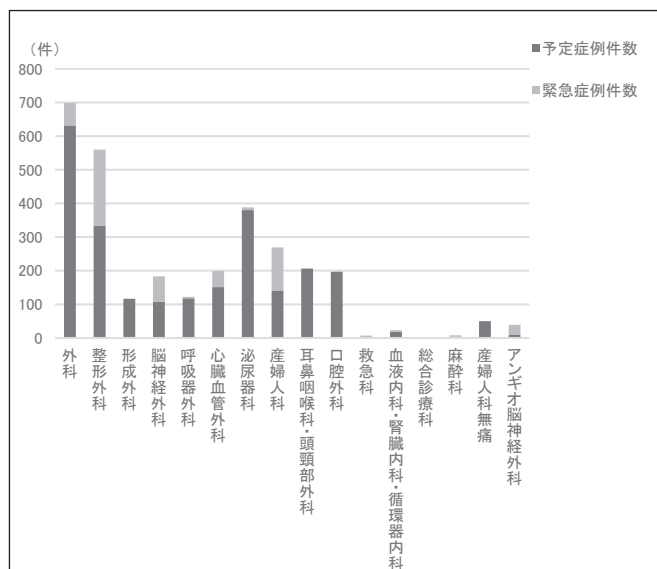


入院患者の疾患名と人数（主病名件数 上位）
（期間2025/4/1-2026/3/31退院）

主病名（ICD10コード名）	ICD10	件数
その他の慢性疼痛	R522	2
脊柱管狭窄（症）、腰部	M4806	1
下背部痛、腰部	M5456	1

	外科	整形外科	形成外科	脳神経外科	呼吸器外科	心臓血管外科	泌尿器科	産婦人科
予定症例件数	632	334	116	108	118	151	380	141
緊急症例件数	67	226	1	75	4	48	8	128
計	699	560	117	183	122	199	388	269

耳鼻咽喉科・頭頸部外科	口腔外科	救急科	血液内科・腎臓内科・循環器内科	総合診療科	麻酔科	産婦人科無痛	アンギオ脳神経外科	合計
206	197	1	18	0	3	50	9	2,464
2	0	6	5	0	5	0	30	605
208	197	7	23	0	8	50	39	3,069



＜今年度の成果と来年度への抱負＞

2025年度は新たな麻酔科医を迎え、当院麻酔科に求められる水準の麻酔の質を安定して維持することがで

きた。これらのスタッフの力を背景に、従来水準を上回る手術麻酔件数と質のさらなる向上を目指していく。

2023年12月よりロボット支援手術が導入され、手術件数は着実に増加している。加えて、2024年度にはハイブリッド手術室が1室増設され、手術体制の拡充が図られた。社会および病院から強く求められている手術件数の増加に対し、今後も最大限応えていく方針である。

また、近年需要が高まっている無痛分娩についても、産婦人科と連携しながら体制を整備し、症例数の増加を推進していく。

2025年度以降は、基盤である手術麻酔の質と量を高いレベルで維持・発展させるとともに、病院の運営方針に沿い、より広範な領域において麻酔科としての責務を果たしていく所存である。

診療局：リハビリテーション科

＜スタッフ紹介＞

役 職	スタッフ名
部長 兼リハビリテーションセンター長	小野 秀文

＜特色と概要＞

詳細については「共同運営部門:リハビリテーションセンター」をご覧ください。